

経営比較分析表（令和6年度決算）

高知県 津野町

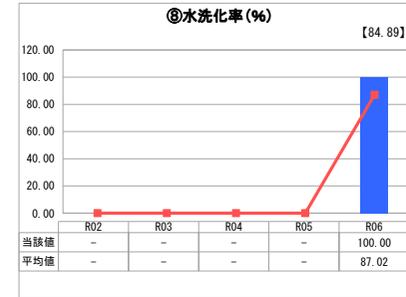
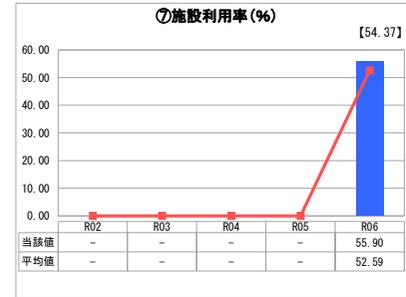
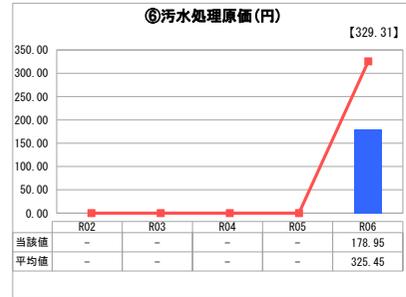
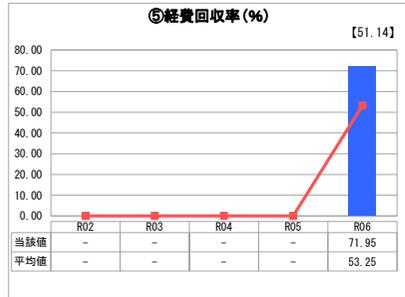
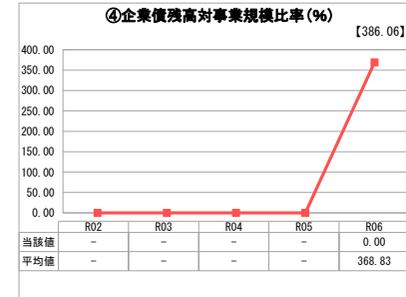
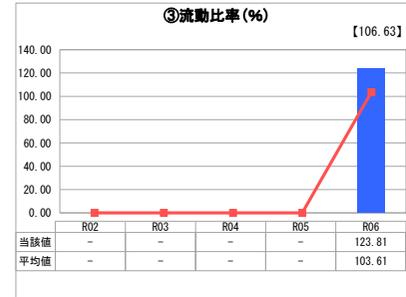
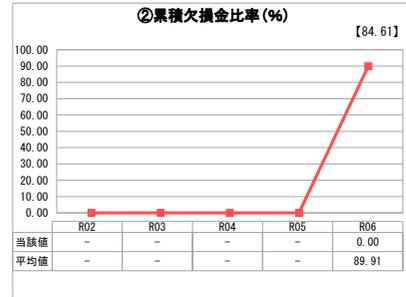
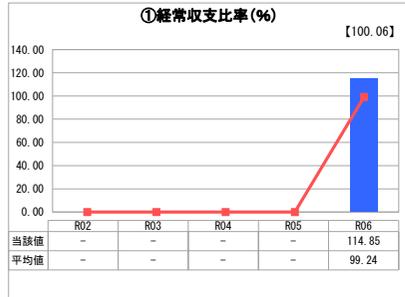
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.79	56.46	100.00	2,618

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,184	197.85	26.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,898	197.98	14.64

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

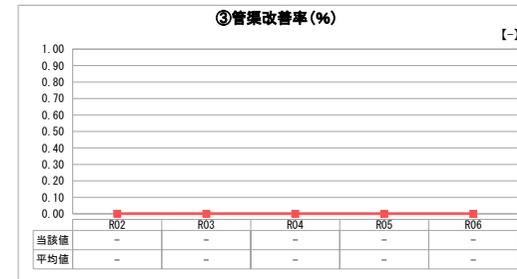
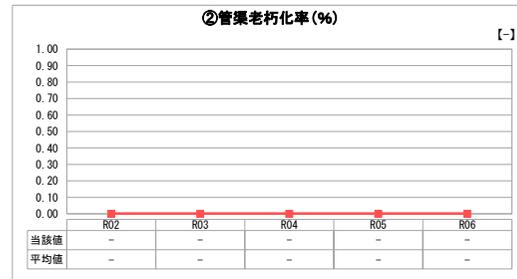
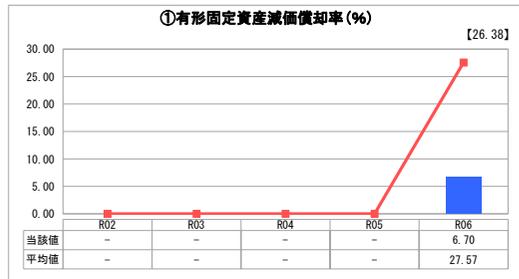
1. 経営の健全性・効率性について

類似団体の平均値と比較して、概ね適正に経営できていると考えるが、⑤の経費回収率については、本来100%以上であることが望ましいため、経営の主な財源である使用料の確実な回収・確保に取り組んでいく必要があると考える。

2. 老朽化の状況について

①の有形固定資産減価償却率から、平均値と比較して耐用年数が近い施設数は少ないと考えられるが、今後においては、施設の老朽化等により、修繕費の増加が見込まれるため、経営に与える影響等を踏まえながら、適切な対応を行っていく必要があると考える。

2. 老朽化の状況



全体総括

現在の経営状況としては、適切な運営が行われていると考えるが、老朽化や新規設置等により管理する施設が増加することに伴い、また、近年の人員費の増や物価高騰による維持管理費の増も今後見込まれることから、持続可能な施設運営のため、必要に応じた料金の見直しや施設の個人への譲渡等も含めた施設管理のあり方を早急に検討していかなければならない。併せて、公営企業会計の事務処理に携わる人材確保も引き続き急務である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。